

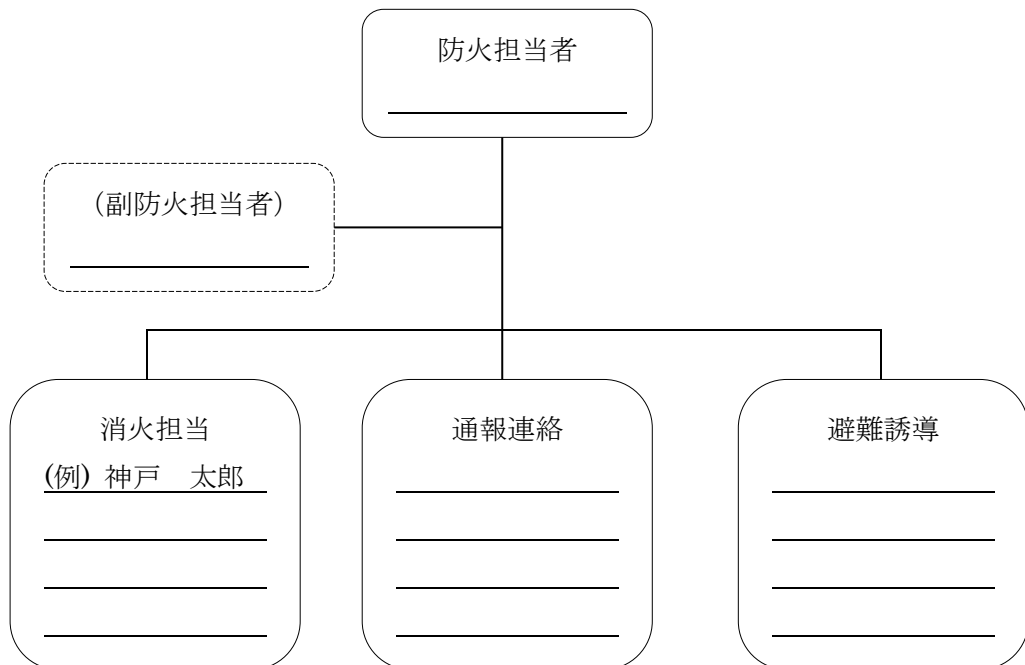
(催し名)

の予防計画

年 月 日

1 火災予防上の業務体制を次のように設置する。

	氏名	連絡先
主催者		
露店等管理者		
防火担当者		



※各担当者は災害の状況に応じて、割り当てられた担当以外の業務にあたるものとする。

2 火災時の対応は次のように行う。

(1) 119番通報

- ① 住所及び発生場所の目標
- ② 燃えているもの
- ③ 負傷者の有無

(2) 初期消火

- ① 付近の露店関係者に火災を知らせ、応援を求める。

- ②火気器具を使用していた場合は、スイッチを切る。
- ③準備した消火器で消火する。

### (3) 避難誘導

- ① 付近にいる観衆等に火事を知らせる。
- ② 大きな声で、安全な場所まで誘導する。
- ③ 逃げ遅れた人、けがをした人がいないか確認する。

※その他災害の状況に応じて、消防車両の誘導、車両・消防隊員の通路の確保、傷病者の応急処置等を実施する。

## 3 露店等及び客席の配置、消火器の配置、火気器具及び危険物の取扱い状況（主催者又は防火担当者が現場で確認する。）

露店等及び客席の開設場所、消火器の位置、対象火気器具等の位置及び液体・気体・固体燃料の位置を別添の配置図に記載。

- ① 火気や危険物の取扱いの場所及び保管場所の周囲に、客席を設けないようにする。
- ② 火気や危険物の取扱い場所及び保管場所に、来場者が容易には入れないように措置をする。
- ③ 避難の障害となる物品等を配置しないようにする。

## 4 火気を取り扱う露店等の一覧表

別添の火気を取り扱う露店等を開設する者の一覧表参照

## 5 各店舗に対する消火準備の確認（主催者又は防火担当者が現場で確認する。）

別紙自主点検シートをもとに、現場で確認する。  
消火器は、破損及び腐食等が無いものを配置する。

## 6 計画変更に関する消防署への報告

催しの防火組織の編成変更、露店出店状況、火気及び危険物の取扱い、保管場所等が変更になった場合に、消防署へ変更した旨を書面等により周知する。



配置図は次のとおりとする。



# 自主点検シート

項目	
<b>1 開設場所</b>	客席の配置のほか、火気器具等や危険物を近接させないなど火災予防上の安全に配慮した配置である。
<b>2 消火器の準備</b>	基準通りに消火器を準備している。
<b>3 火気器具全般</b>	安定した状態で使用している。 近くに可燃物を置かない。 火災予防上安全な距離をとっている。
<b>4 液化石油ガス</b>	LPガス用の器具を使い、ひび割れしているゴムホースは使用しない。 LPガスボンベは転倒しないように固定している。 ゴムホースの接続部には、抜け防止用のホースバンド等を使用している。
<b>5 カセットこんろ</b>	正しい取扱いをしている。(2台以上並べて使用しない。)
<b>6 まき・炭等</b>	まき・炭等を使用する場合は、みだりにその場を離れず、残り火の整理を確実にする。
<b>7 携帯発電機</b>	携帯発電機の正しい使用方法を確実に理解している。 途中でガソリン等を補給しなくてもいいようにしている。 やむを得ずガソリン等を補給するときは、必ずエンジンを停止し、近くに人や火気のない場所で、開口前の事前のエア抜きをする。 吹きこぼしが起こらないように注意する。
<b>8 危険物容器</b>	消防法令に適合したものを使用している。 火気や高温部から離れた直射日光の当たらない通風、換気の良い場所で保管する。 直接地面に置くなど静電気の蓄積を防いでいる。
<b>9 暖房器具</b>	可燃物との距離を十分に保ち、使用中はその場を離れない。 燃料を補給するときは、火を消してから実施する。
<b>10 放火防止対策等</b>	LPガスボンベ等の危険物は、露店終了後には持ち帰り、放置しない。 放火されないために、整理整頓を確実に実施する。